

土谷総合病院、腎透析科の概要

1966年より透析療法を開始し、これまでに4,500名の患者様を導入加療してまいりました。如何なる腎不全・臓器不全にも対応するという基本方針のもと、その時々新しい技術を導入しています。現在、大きく3つの柱があります。一つは早期腎疾患治療と慢性腎不全症例の透析導入とその合併症の治療であり、他は腹膜透析療法と急性腎不全症例に対する急性血液浄化療法です。この治療をおこなうため外科医、腎臓内科医、泌尿器科医が協同して診療に当たっています。

診療内容

1) 早期腎疾患治療:

検尿異常精査、さらに腎生検を行い、その結果に基づいた薬物療法を行う。

2) 保存期腎不全治療:

薬物療法、食事療法、生活指導を基本とし末期腎不全への進行を抑える。

3) 慢性腎不全治療:

血液透析と腹膜透析の両者を行っており、年間120名に血液透析、40名に腹膜透析を導入。選択の基本的方針は、腹膜透析のバック交換をご自分でできる患者様には最初に腹膜透析を選択する。腹膜透析には残腎機能が保持できるという利点があり、導入後数年間(5年程度)は安定した社会生活を送ることができる。その後残腎機能の低下にしたがって血液透析を併用していく。

長期透析の合併症を防止するために、HDF療法を積極的に取り入れている。また使用する透析液は完全に清浄化されている。

4) 急性腎不全治療:

持続的血液浄化療法を主にICU治療を基本とする。24時間治療可能な体制となっている。

診療内容

腎疾患、腎生検、腎不全、血液透析療法、腹膜透析療法、急性腎不全、血液浄化療法、腎不全外科、透析血管外科、経皮的血管形成術、血漿交換療法

学会認定

日本透析医学会専門医制度認定施設

日本腎臓病学会認定研修施設

日本外科学会認定修練施設

日本内科学会教育関連施設

関連施設

中島土谷クリニック、大町土谷クリニック、阿品土谷病院

診療実績(2004年度)

- 外来患者数:630人/月
- 入院患者数:2,809人/月
- 透析患者数:1,280 (CAPD 182)
- 年間透析導入患者数:172(CAPD: 44、急性腎不全: 26を含む)
 - ∅ 腎生検:35件
 - ∅ シャント手術:207件
 - ∅ PTA:333件
 - ∅ PDカテーテル挿入術:49件
 - ∅ 腎不全患者外科手術:71件
- 学会活動
 - 英文雑誌:7編、国内雑誌:27編
 - 国際学会発表:6、国内全国学会・研究会発表:39、地方会発表:4

日常診療スケジュール

	月	火	水	木	金
8:00-9:00	病棟カンファレンス	読書会		病棟カンファレンス	病棟回診
9:00-11:00	シャント手術 PTA	透析患者外科手術	シャント手術 PTA	シャント手術 PTA	透析患者外科手術
11:00-12:00	外来透析回診	外来透析回診	外来透析回診	外来透析回診	外来透析回診
13:00-16:00	病棟患者管理	透析患者外科手術	病棟患者管理	病棟患者管理	病棟患者管理
16:00-17:30	病棟患者管理	病棟患者管理	病棟患者管理	外来透析カンファレンス	病棟患者管理
17:30-	腎疾患勉強会		腎疾患勉強会		腎疾患勉強会

後期研修スケジュール

目標：腎疾患・透析療法の理解と実践

具体的内容

手技

腎生検、シャント手術、PTA、PDカテーテル挿入、
透析用カテーテル挿入

管理

腎炎、末期腎不全、慢性透析、急性腎不全、多臓器不全

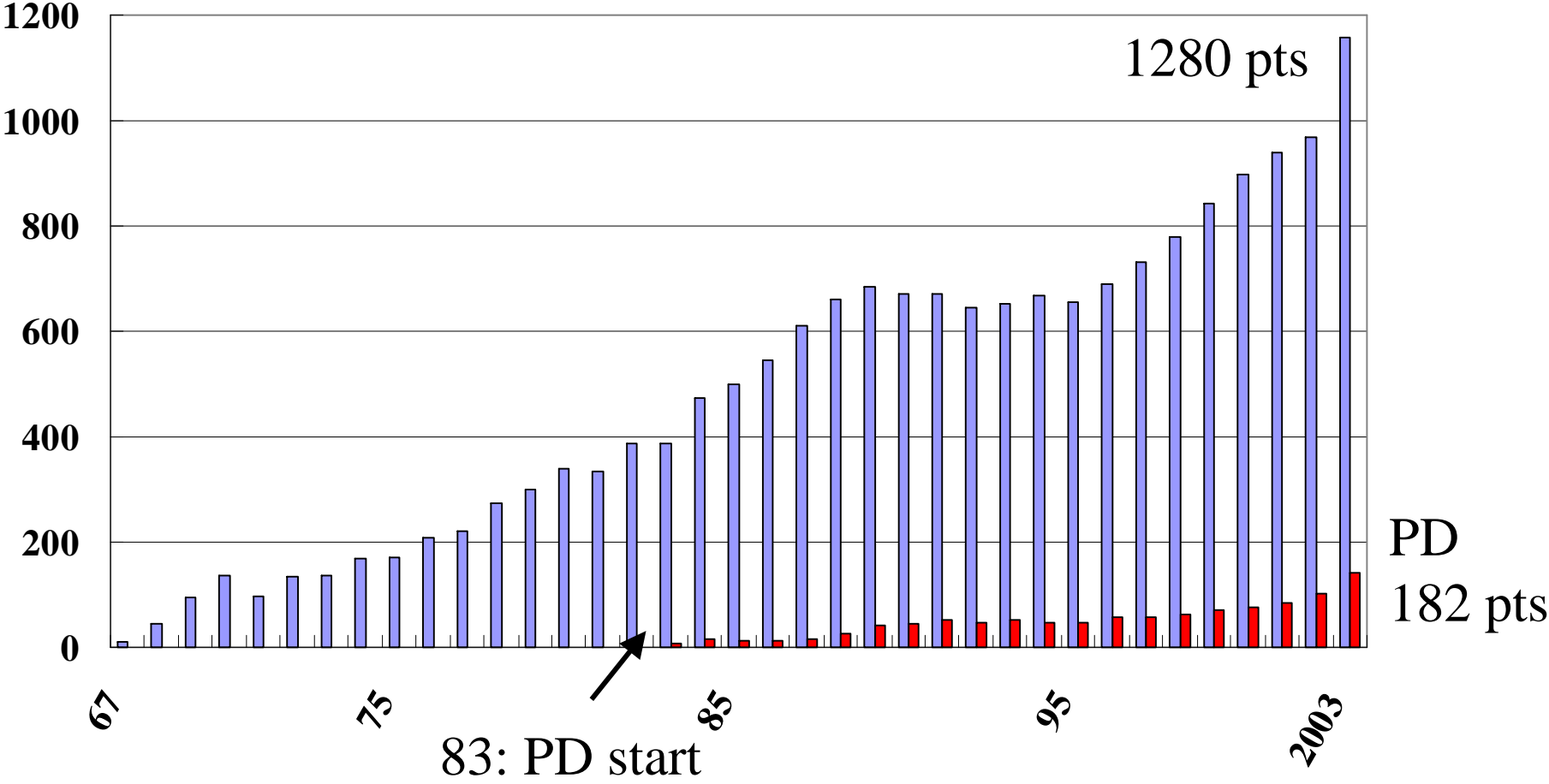
学術活動

読書会、勉強会

全国規模学会発表 年2回、地方会 年1回

透析患者数の推移

patients



透析導入患者数の推移

patients

36年間: 透析導入数 3784例, (PD 332例 8.8%)

